

第 139 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 25 年 7 月 5 日 (金) 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 田辺 (電中研)

委 員 岩佐 (産総研)、黒川 (産総研)、作田 (日本大)、木本 (佐賀大)
竹内 (横河電機)、仲嶋 (三菱電機)

幹 事 大谷 (アンリツ)

幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

資 料

139-1 平成 26 年度 計測技術委員会活動計画 (一次案)

139-2 平成 26 年度 計測研究会開催予定 (一次案)

139-3 平成 25 年度 計測技術委員会 活動状況

139-3-1 計測研究会プログラム (6 月及び 9 月開催分)

139-3-2 研究会企画連絡シート (11 月開催分)

139-3-3 研究会企画連絡シート (12 月開催分)

139-4 A 部門大会における技術委員会ポスター紹介について

139-5 Recent Activities in the Technical Committee of Instrumentation and Measurement of IEEJ

139-6 基礎・材料・共通部門誌 原稿執筆のお願い

139-7 平成 25 年度研究会活動補助金計算書

139-8 平成 26 年全国大会におけるシンポジウムの提案及び他専門委員会および電気規格調査会との連絡・調整依頼

139-9 第 5 回 スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会議事録

議 事

1. 議事録の確認

- ・異議なく承認された。

2. 運営委員会報告

田辺委員長より運営委員会の報告があった。

- ・今年度の委員長は九州工業大学の匹田先生、副委員長は東京工業大学の松下先生である。
- ・委員会設置の際の正員構成比率について、今後は部門役員会で審議して設置を決めることになった。
- ・収支改善方策の一環として、日本交通協会会議室の利用を中止し、代わりに、神田のサニー貸会議室を手配した。
- ・研究会資料の発表者への無料配布を止め、また、年間購読費についても値上げする案が出た。
- ・論文投稿に関し、大学の研究紀要や企業の技報等で発表された論文を投稿する場合、二重投稿とはしないが、既発表であることを明示することとした。
- ・特集論文のゲストエディタについての議論がなされ、A 部門では内規を見直すことにした。

3. 平成 26 年度計測技術委員会活動計画及び計測研究会開催予定

大谷幹事より資料 139-1 及び資料 139-2 に基づき、平成 26 年度活動計画等について説明があった。

- ・6 月の研究会の開催地は青森県で検討する。

- ・7月の生体計測と12月のセンサ応用計測について、開催月を入れ替える。
- ・IEEE 学生研究発表会について、11月及び12月の連続開催とする。12月の学生研究発表会は作田委員にお願いする。

4. 平成25年度活動状況

大谷幹事より資料139-3から資料139-3-3に基づき、平成25年度活動状況等について報告があった。

- ・7月の研究会は中止となった。
- ・11月の佐賀大学での研究会は、11月21日、22日の2日間で行う。
- ・12月の研究会は12月13日に京都市内で開催予定である。
- ・2月の研究会は例年どおり光応用・視覚技術委員会との合同開催を予定している。

5. A部門大会におけるポスター紹介について

大谷幹事より資料139-4に基づき、A部門大会における技術委員会ポスター紹介について説明があった。

- ・現時点で正式な依頼はないが、期限等について早めに確認する。
- ・ポスターの内容については、昨年のA賞及び部門発表賞を受賞した3名に依頼する予定であるが、太田氏が卒業している場合は、他の2名に依頼する。

6. EINA マガジンについて

大谷幹事より資料139-5に基づき、EINA マガジンの記事について説明があった。

- ・記事の内容については、A部門大会におけるポスターの内容を記事にさせていただくことにする。

7. 基礎・材料・共通部門誌の原稿について

大谷幹事より資料139-6に基づき、基礎・材料・共通部門誌の原稿執筆依頼について説明があった。

- ・原稿の内容については、EINA マガジンの内容を日本語にする。
- ・調査専門委員会のトピックス等については、7月12日開催の調査専門委員会で議論する。

8. 平成25年度研究会活動補助金について

白井幹事補佐より資料139-7に基づき、平成25年度研究会活動補助金について説明があった。

- ・平成25年度の計測研究会への補助金は19,000円である。
- ・特別講演における交通費、研究会の懇親会等に使用可能である。

9. 調査専門委員会について

岩佐委員より資料139-8及び資料139-9に基づき、スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会の活動について報告があった。

- ・7月12日に三菱電機伊丹地区スマートグリッド実証設備の見学を行う。
- ・平成26年の全国大会において、シンポジウムを計画している。

10. その他

- ・技術交流会の領収書等に使用するための計測技術委員会の印鑑の作製について検討する。
- ・任期切れの委員について確認を行う。

・調査専門委員会での成果について研究会で発表を行いたいが、原稿のページ数について、2～3ページも可能にしてほしいとの要望があった。論文のサブタイトルに「スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会検討資料」等と付して、他の論文と別の扱いであることを明確にすることとなった。

次回予定

日 時 平成 25 年 10 月 25 日（金） 14:30 ～ 17:00

場 所 未定